

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 2名		私たちの未来 未来の私たち

年間目標	自分自身に関すること		自分の生活を振り返り、改善すべき点などについて考え、基本的な生活習慣は心身の健康を維持増進することを理解することができる。			
	人との関わりに関すること		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てる。			
	集団や社会との関わりに関すること		集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。			
	生命や自然、崇高な物との関わりに関すること		よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じることができる。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	2	(思判表力) (学・人) 自分で考え、判断し、自分の決めたことにもとづいて行動することができる。	・「自主・自律」とは	自分で決めたことをきちんと行うためにどうしているか、どうすべきかを述べあう。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	5月	4	(思判表力) (学・人) 心身の健康を保つために自分自身をコントロールする基準を見つけることができる。	・「節度を守る」とは	「～しすぎではよくない」ことについて意見を述べあいながら「節度を守る」ことの意味を考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	6月	4	(思判表力) (学・人) 自分の長所や特性がわかり、自己肯定感を高めながら向上することができる。	・「自分の個性」とは	できるだけ多く「好きなこと」「やりたいこと」を述べあい、自分自身の志向について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	7月	2	(知及技) (思判表力) 自分の意志に従って、やるやらないをしっかりとることができる。	・「権利」とは	「自由」と「義務」「責任」についても話し合い、自分が望む権利について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
2 学 期	9月	4	(思判表力) (学・人) 相手の立場に立って考え、人の手助けができるような言動をとることができる。	・「思いやり」とは	想像力を働かせ、相手が喜ぶと思う言葉かけや行動について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	10月	4	(知及技) (学・人) 礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとることができる。	・「TPO」とは	さまざまな公的な場において、どのような言動をとるべきかを考えを述べあう。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	11月	4	(思判表力) (学・人) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しながらお互いに向上しあうことができる。	・「相互理解」とは	自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるとともに、自分と違う考えを持っている相手の意見も寛容に学ぶ話し合いをする。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	12月	3	(知及技) (学・人) 働くことの意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようと思えることができる。	・「労働・社会貢献」とは	自分が知っている職業や目指している職業がどのような形で社会に貢献しているか調べて発表しあい、労働と社会貢献について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
3 学 期	1月	2	(学・人) 自分自身の育ってきた環境を肯定的に受け止めつつ、よりよい家庭生活を築こうと考えることができる。	・「家庭」とは	家庭に関するいろいろな意見を尊重し、既成の家族像や慣習にとらわれないパートナーシップや安らぎを感じる家庭について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	2月	4	(知及技) (思判表力) (学・人) すべての生命を育む自然環境を尊重し、愛護につとめようと思えることができる。	・「自然」とは	自然の尊さ、美しさ、はかなさ、おそろしさについて考えを深める。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	3月	2	(学・人) 1年間の話し合いを振り返り、自分自身の成長を見出すことができる。	・1年間のまとめ	1年間話し合ったことを思い出し、これからの自分の生き方を考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高2年 2名		私たちの未来 未来の私たち

年間目標			自分自身に関すること	望ましい生活習慣を身に付け、節度と節制に努め、調和のある生活をしようとする態度を育てる。		
			人との関わりに関すること	温かな人間愛に基づいた、他の人への感謝の心と思いやりの心を養う。		
			集団や社会との関わりに関すること	集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。		
			生命や自然、崇高な物との関わりに関すること	地域社会の文化伝承に誇りを持ち、国際社会の平和と進歩に貢献し、よりよい未来を拓く日本人の育成に努める。		
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	2	(思判表力) (学・人) 相手の立場に立って考え、人の助けが得られるような言動をとることができる。	・「思いやり・友情」とは	想像力を働かせ、相手が喜ぶと思う言葉かけや行動について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	5月	4	(思判表力) (学・人) ルールとは何かを考えながら、社会にどのようなルールがあるかを見つけることができる。	・「ルールを守る」とは	「ルールを守らなかったらどうなる」ことについて意見を述べあいながらルールの意味を考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	6月	4	(思判表力) (学・人) 自分の長所や特性がわかり、自己肯定感を高めながら向上することができる。	・「自分の個性」とは	できるだけ多く「好きなこと」「やりたいこと」を述べあい、自分自身の志向について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	7月	2	(知及技) (思判表力) 自分の意志に従って、やるやらないをしっかり言うことができる。	・「権利」とは	「自由」と「義務」「責任」についても話し合い、自分が望む権利について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
2 学期	9月	4	(思判表力) (学・人) 心身の健康を保つために自分自身をコントロールする基準を見つけることができる。	・「節度を守る」とは	「～しすぎではよくない」ことについて意見を述べあいながら「節度を守る」ことの意味を考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	10月	4	(知及技) (学・人) 礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとることができる。	・「TPO」とは	さまざまな公的な場において、どのような言動をとるべきか考えを述べあう。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	11月	4	(思判表力) (学・人) 自分の考えや意見を相手に伝えるときともに、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しながらお互いに向上しあうことができる。	・「相互理解」とは	自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるときともに、自分と違う考えを持っている相手の意見も寛容に学ぶ話し合いをする。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	12月	3	(知及技) (学・人) 働くことの意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようと思えることができる。	・「労働・社会貢献」とは	自分が知っている職業や目指している職業がどのような形で社会に貢献しているか調べて発表しあい、労働と社会貢献について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
3 学期	1月	2	(学・人) 自分自身の育ってきた環境を肯定的に受け止めつつ、よりよい家庭生活を築こうと考えることができる。	・「家庭」とは	家庭に関するいろいろな意見を尊重し、既成の家族像や慣習にとらわれないパートナーシップや安らぎを感じる家庭について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	2月	4	(知及技) (思判表力) (学・人) すべての生命を育む自然環境を尊重し、愛護につとめようと思えることができる。	・「自然」とは	自然の尊さ、美しさ、はかなさ、おそろしさについて考えを深める。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	3月	2	(学・人) 1年間の話し合いを振り返り、自分自身の成長を見出すことができる。	・1年間のまとめ	1年間話し合ったことを思い出し、これからの自分の生き方を考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
留意点 引継等						
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度			

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高3 2名		私たちの未来 未来の私たち

年間目標			自分自身に関すること		望ましい生活習慣を身に付け、節度と節制に努め、調和のある生活をしようとする態度を育てる。	
			人との関わりに関すること		温かな人間愛に基づいた、他の人への感謝の心と思いやりの心を養う。	
			集団や社会との関わりに関すること		集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。	
			生命や自然、崇高な物との関わりに関すること		地域社会の文化伝承に誇りを持ち、国際社会の平和と進歩に貢献し、よりよい未来を拓く日本人の育成に努める。	
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	3	(思判表力)(学・人)自分で考え、判断し、自分の決めたことにもとづいて行動することができる。	・「自主・自律」とは	・自分で決めたことをきちんと行うためにどうしているか、どうすべきかを述べあう。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	5月	4	(思判表力)(学・人)心身の健康を保つために自分自身をコントロールする基準を見つけることができる。	・「節度を守る」とは	・「～しすぎではよくない」ことについて意見を述べあいながら「節度を守る」ことの意味を考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	6月	4	(思判表力)(学・人)自分の長所や特性がわかり、自己肯定感を高めながら向上することができる。	・「自分の個性」とは	・できるだけ多く「好きなこと」「やりたいこと」を述べあい、自分自身の志向について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	7月	3	(知及技)(思判表力)自分の意志に従って、やるやらないをしっかり言うことができる。	・「権利」とは	・「自由」と「義務」「責任」についても話し合い、自分が望む権利について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
2 学期	9月	4	(思判表力)(学・人)相手の立場に立って考え、人の手助けができるような言動をとることができる。	・「思いやり」とは	・想像力を働かせ、相手が喜ぶと思う言葉かけや行動について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	10月	4	(知及技)(学・人)礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとることができる。	・「TPO」とは	・さまざまな公的な場において、どのような言動をとるべきかを考えを述べあう。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	11月	4	(思判表力)(学・人)自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しながらお互いに向上しあうことができる。	・「相互理解」とは	・自分の考えや意見をわかりやすく相手に伝えるとともに、自分と違う考えを持っている相手の意見も寛容に学ぶ話し合いをする。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	12月	3	(知及技)(学・人)働くことの意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようと思えることができる。	・「労働・社会貢献」とは	・自分が知っている職業や目指している職業がどのような形で社会に貢献しているか調べて発表しあい、労働と社会貢献について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
3 学期	1月	2	(学・人)自分自身の育ってきた環境を肯定的に受け止めつつ、よりよい家庭生活を築こうと考えることができる。	・「家庭」とは	・家庭に関するいろいろな意見を尊重し、既成の家族像や慣習にとらわれないパートナーシップや安らぎを感じる家庭について考える。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
	2月	4	(知及技)(思判表力)(学・人)すべての生命を育む自然環境を尊重し、愛護につとめようと思えることができる。	・「自然」とは	・自然の尊さ、美しさ、はかなさ、おそろしさについて考えを深める。	国語、数学、社会、理科、家庭科、職業
留意点 引継等						
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度			